

第一イン新湊

Dai-Ichi Inn Shinminato

No. 09-015-2023作成

新築
ホテル

発注者	新港ビル株式会社	カテゴリー				
設計・監理	佐藤工業株式会社一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
インテリア設計協力	株式会社プロデュース、フォワードスタイル株式会社	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	佐藤工業株式会社 北陸支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

地域の記憶を継承するホテル

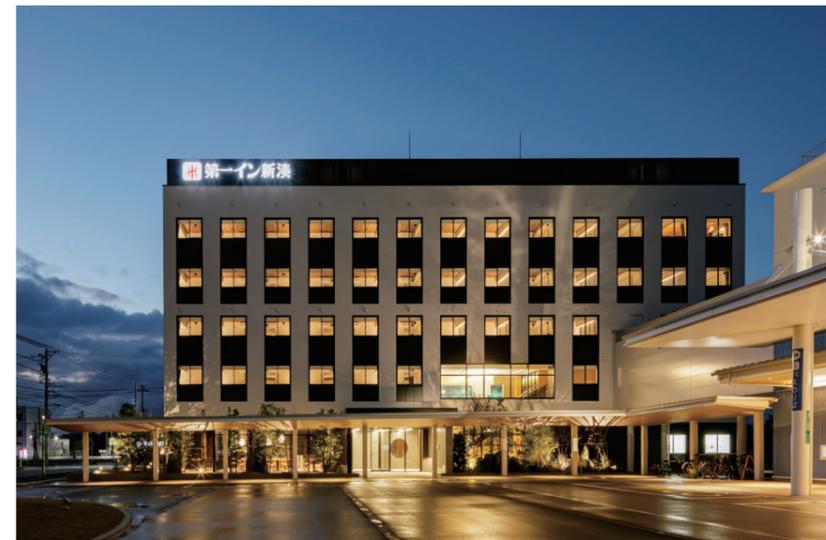
事業の位置づけ

本物件は富山県射水市におけるベイエリアの観光交流拠点を整備する目的で、地域振興計画の一環として執り行われている。同敷地内には令和元年にオープンした複合交流施設が位置している。同じ地域振興の拠点として、その既存の宴会場と一体的に利用できるよう、渡り廊下で屋内を接続し、シティホテル的な運用も鑑みた計画である。

本計画の位置する射水市・新湊地域には「曳山祭り」の伝統があり、その“地域の記憶”を如何に継承するかが、事業主及び射水市が着目する点の1つであった。同時に本計画は旧第一イン新湊の移転新築工事にもあたるが、旧ホテルも地域住民から親しまれており、計画において旧ホテルの“記憶の継承”にも焦点を当てている。



外観：ホテル正面と渡り廊下



外観：ホテルファサード（夜景）

伝統風景をモチーフとする

事業敷地は以前に旧市役所のあった場所であり、ここにはかつての曳山の蔵があったことなど、伝統行事の記憶も色濃く残っている。曳山の提灯のリズムをモチーフとして、華やかな装飾材を用いず、外壁の塗装パターンのみで曳山のイメージを取り入れることを試みている。



伝統行事：曳山祭のイメージ

(画像：富山県観光公式サイト：『富山観光ナビ』より)

地域の記憶の継承

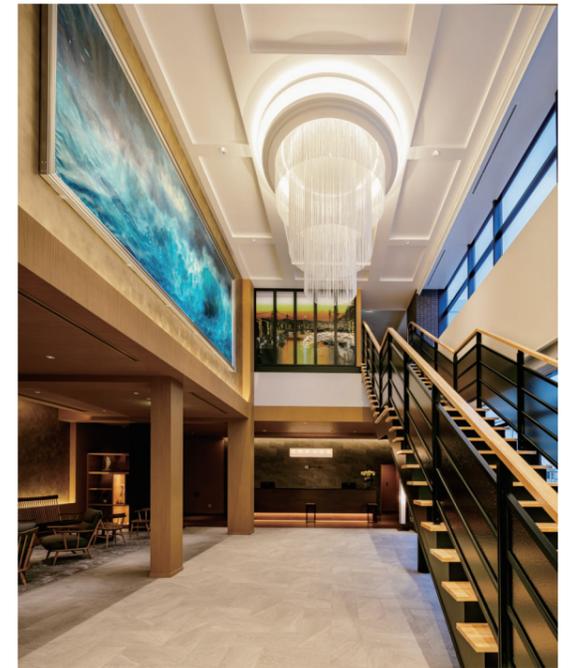
「曳山祭り」「旧ホテル」「地域の風景」という3つの“記憶”を基に、新ホテルの存在を地域に馴染ませつつ地域性を表出させるよう、デザインを行っている。ロビー・ラウンジは「祭の華やかさ」を表すよう、フリンジ照明（樹脂製の紐を垂らしたシャンデリア調の照明）や金箔調の不燃シートなど、コストを抑えつつ豪華な設えとしている。吹抜け上部には地元で親しまれている「内川」の風景を描いたステンドグラス調の内窓、および旧ホテルから移設した大構面の絵画を設置し、華やかさと同時に地域の記憶を内装に取り入れている。ロビー外部の築山は、富山県原風景の1つである立山連峰をモチーフとしている。客室の中でもスイートルームは、立山連峰と富山湾を同時に望める位置とし、同時に曳山祭りのモチーフを色濃くあしらい、伝統と文化をコンセプトとした客室となっている。



スイートルーム



ロビー外部に見える築山



ロビー・ラウンジ

デザインシミュレーション

設計を進めるにあたり、デザインコンセプトの検証や、既存棟との納まり確認などを行うべく、3Dモデルやイメージパースを用いた検討を行っている。記憶の継承をはじめとする設計者の意図をどのように取り入れているか、図面表現に馴染みの無い関係者へもそのイメージをより明瞭に伝えられるよう取り組み、合意形成をより円滑に行うことが出来た。



パース：外観(上)/ロビー内観(下)

連続的デザインモチーフ

曳山祭りに見る「祭の華やかさ」から、富山湾・立山連峰などに見る「日常の静穏さ」を連続的に取り扱っている。ロビーなどFOH共用部の豪華な設え(写真:右上)から、徐々に落ち着いた、祭の余韻を感じさせるような客室廊下(写真:右下)を経由して、海・山など地域の自然風景をカラースキームを取り入れた客室(写真:下)へと連続する演出としている。



1階ELVホール(右上)
客室廊下(右下)

沿道の緑化とまちなみへの調和

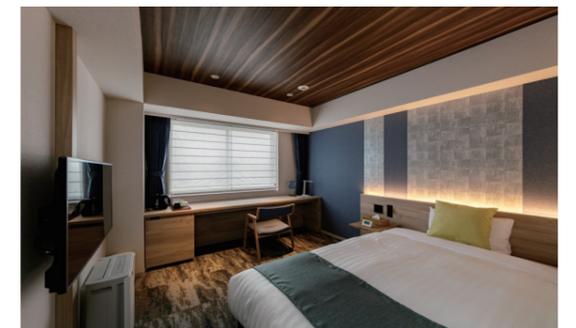
前面道路および敷地内通路に面する部分を、法令必要な面積以上を緑化し、環境負荷低減と同時にまちなみへの緑の景観を提供している。



沿道部の緑化状況(右)

設計担当者

統括：堀内裕樹/建築：福原涼平/構造：後出二郎、石塚祐太/設備：池田紀生、渡辺英章、中西和昭



「空・海・風」をカラースキームとする客室

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	富山県射水市	B-ランク	
竣工年	2023年	BEE=0.9	
敷地面積	8,967㎡	2016年度版 自己評価	
延床面積	2,873㎡ (+既存4,560㎡)		
構造	S造		
階数	地上5階		

主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（前面道路側とアプローチ側の緑化）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（既存の地域交流施設との調和と一体利用）
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（地域の伝統や景観を取り入れたデザイン）
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮（CASBEE：B-）